



# ミューNews

男女がともにいきいきと輝き、  
住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」  
住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう

## 男女共同参画週間事業

29年度キャッチフレーズ「男で〇、女で〇、共同作業で◎。」

ミューいしがせでは、6月23日～29日の期間、男女共同参画週間事業として、講演会やワンデイシェフによるランチなど、様々な事業を開催しました。開催期間中、延べ3,947人の参加がありました。



岡村秀人市長によるあいさつ

### 議員と語ろう 「イキイキと暮らせるまち・おおぶ」トークショー

6月27日（火）大府で活躍する議員を囲んでトークショーを開催しました。それぞれの活動の話や、働き方改革、女性の活躍推進における考え、また、ご自身のワーク・ライフ・バランスについてお話を伺いました。男女それぞれの視点の違いや、大府の未来についても話を伺うことができ、有意義な時間となりました。



守屋 孝さん・柴崎智子さん・山本正和さん・小山昌子さん

#### 【感想】

- 市民が議員を身近に感じる良い機会でした。大府の現状も知ることができた。
- 市長も最後まで参加してくれたことがうれしかった。大府を良くしようと頑張っていることが伝わりました。
- 議員の方々の生活の中から出た市政の話は大変参考になりました。



ひとりひとりの豊かな毎日のために  
多様化する「性」を考える



みなさんは「LGBT」という言葉を知っていますか？  
また、どれほど理解をしているのでしょうか？最近のテレビなどメディアでは、男女の枠を越えた存在が当たり前になり、日本でもかなりオープンになったように感じます。しかし、社会の中では、LGBT当事者に対する偏見は根強く残っており、思うように実力が発揮できず悩んでいる方は少なくありません。

私たちひとりひとりが、正しい知識と理解を深め、みんなが自分らしく生きられる社会にしたいですね。

## LGBTってなんだろう？

～私たちの理解から始まる第一歩～

「LGBT」とは性的少数者（セクシャルマイノリティ）を限定的に指す言葉。

「L」 レズビアン（女性同性愛者）・・・女性が女性に性的魅力を感じる人

「G」 ゲイ（男性同性愛者）・・・男性が男性に性的魅力を感じる人

「B」 バイセクシャル（両性愛者）・・・男性または女性どちらにも性的魅力を感じる人

「T」 トランスジェンダー（性同一性障害）・・・心と身体の性が一致していない人

からだの性・こころの性・好きになる性の組み合わせは様々で、LGBTの四文字だけでは性的少数者（セクシャルマイノリティ）の全ての人たちを表現することはできていません。

## 日本の現状ってどうなってるの？

近年では個人の尊厳に深く関わる人権問題の一つとして扱われているLGBT。日本では人口の7.6%がLGBT、つまり約13人に1人と言われています。現在、障がいのある人の差別を禁止する条例等の整備がようやく進みつつありますが、LGBTをめぐる法的課題など、日本の現状はどうなのでしょう？

日本では同性愛行為を規制する法律は存在しません。日本国内では平成27年3月に同性カップルに対し、結婚に準じる関係と認める「パートナーシップ証明」を発行する全国初の条例案が、渋谷区議会でも可決・成立したことはご記憶に新しい方もいらっしゃると思います。

平成16年には性同一性障がい者が性別適合手術後に法的な性別の変更を認める「性同一性障がい者特例法」が施行され、法令上の性別の取り扱いと戸籍上の性別記載が変更できるようになりました。

しかしながら、先進諸国の中で日本はLGBTをめぐる法的整備に関しては、遅れていると言えます。日本国憲法では、法の下での平等のもとにいかなる理由の差別も禁止していると解釈されていますが、国内では公民権に関連する法律において性的思考を明示して保護をしていません。これはLGBTの人々が雇用や教育、住居や健康、財産などで差別を受けた場合に、よりどころとなる法的手段がないことを示しています。例えばパートナーからDVを受けた場合、同性愛者とトランスジェンダーの人々は「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」の適用外とされ、法的保護を受けることができないケースがあります。また、強姦罪は女性が男性から被害を受けた場合のみ適用され、ゲイの加害者が男性の被害者に、もしくはレズビアン女性が女性から被害を受けた場合は、量刑の軽い強制わいせつ罪が適用されます。（強姦罪は3年以上20年以下の懲役、強制わいせつ罪は6か月以上10年以下）

（日本におけるLGBTの権利-Wikipediaより）

自分の住む国が同性愛者にとって暮らしやすいかを米ギャラップ社が調査した結果、欧州各国が上位をほぼ独占した一方、下位にはアフリカ各国が並び地域によって大きな差が現れました。

1位はオランダで、83%が同性愛者にとって暮らしやすいと答ました。2位のアイスランド、3位のカナダなど成婚が法律で認められている国が上位を占めました。アメリカは12位。気になる日本は123か国中50位。先進諸国の中では最下位でした。

（GENXY LGBT MAGAZINEより）

当事者たちはどのような心境で暮らしている方が多いのでしょうか。  
2013年にLGBT当事者、およびそうかもしれないと思っている10～35歳  
を対象に行われたインターネット調査結果は以下のようになっています。



LGBTであるかもしれないと気がついた年齢

	最頻値	最頻期間
性別違和のある男子	小学校入学前 (25%)	小学校入学前～小学校6年生
非異性愛男子	中学1年生 (25%)	小学校6年生～高校1年生
性別違和のある女子	中学1年生 (18%)	小学校6年生～高校1年生
非異性愛女子	中学2年生 (18%)	小学校6年生～高校1年生

LGBTであるかもしれないと気が付いた年齢については、性別違和のある男子以外の項目で、中学1年生から中学2年生が最多で、小学6年生から高校1年生の期間に自覚したと回答したものが約半数。思春期においてジェンダー・セクシャリティについての自覚がなされてることがうかがわれる。

自分自身がLGBTであることを打ち明けた相手 (複数回答)

	性別違和のある男子	非異性愛男子	性別違和のある女子	非異性愛女子
同級生	58%	61%	75%	77%
同年代の友人(部活の友人)	29%	36%	36%	36%
同年代の友人(その他同じ学校の友人)	13%	31%	25%	22%
同年代の友人(学外の友人)	42%	18%	24%	27%
担任の教師	29%	10%	17%	7%
養護教諭(保健室の教師)	23%	11%	22%	6%
その他の教師	13%	10%	21%	7%
父親	23%	7%	13%	5%
母親	58%	13%	31%	13%
きょうだい	13%	10%	16%	11%
親戚(親類)	6%	3%	7%	0%
近所の人	3%	0%	2%	0%
医師	29%	4%	11%	1%
カウンセラー	16%	19%	19%	7%
当事者団体の人	13%	28%	8%	3%
その他	13%	14%	11%	13%

(注) %は「だれかに話した」と回答した者に占める割合。

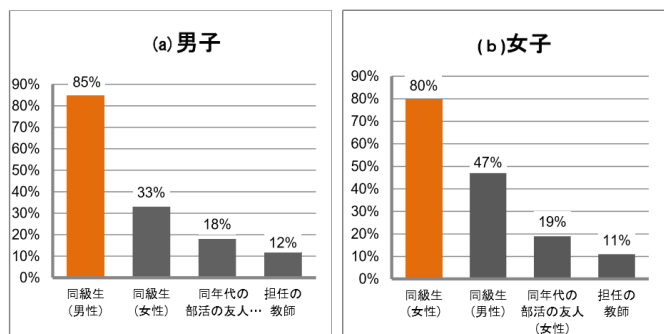
打ち明けた相手について、6～7割は同級生を選んだのに対し、周囲の大人たちに打ち明ける当事者が少ない。教師に話した割合は1割程度に過ぎず、学校現場において教師が当事者の存在を認識しにくい現状が浮き彫りとなっている。

※いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン  
(平成25年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業の助成を受け行われた、LGBTの学校生活における実態調査) アンケート結果より抜粋

いじめや暴力を受けた経験 (複数回答)

	性別違和のある男子	非異性愛男子	性別違和のある女子	非異性愛女子
身体的な暴力	48%	23%	19%	10%
言葉による暴力	78%	53%	54%	45%
性的な暴力(服を脱がされる・恥ずかしいことを強制)	23%	12%	12%	7%
無視・仲間はずれ	55%	34%	51%	57%
上のような経験はない	18%	35%	30%	36%

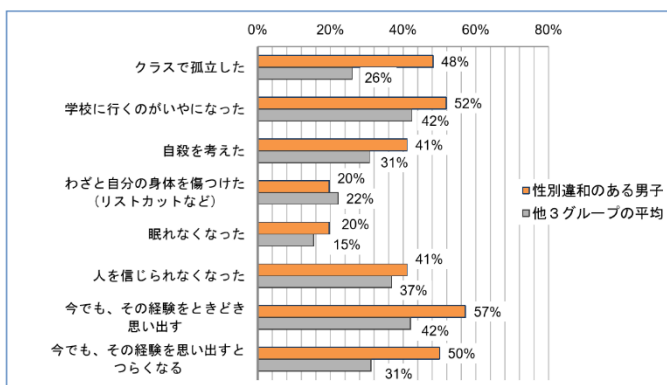
全回答者の68%はいずれかのいじめや暴力を経験していた。中でも性的違和のある男子はハイリスク層であることが分かる。



(図4) いじめや暴力をだれから受けたか (複数回答)

(注) %はいじめや暴力を受けたと回答した者に占める割合

担任によるいじめや暴力を経験したのも1割程度存在した。



いじめや暴力を受けたことによる影響 (複数回答)

いじめや暴力を受けたことがその後の人生にも心の傷として残っている回答者が少なくなく、いじめや暴力により自殺を考えたり、自傷行為にも少なからず影響を及ぼしていることが分かった。

講座のご案内

## 自分力UP講座



松岡成子さん  
NPO法人ASTA代表理事  
LGBT成人式実行委員会

## 思春期の性への目覚め

### ～性の多様性・セクマイへの理解～

日時：平成29年10月4日(水)10:00～12:00

受講料：無料 場所：ミューいしがせ

自分の子どもがセクシャルマイノリティーの当事者だったらあなたならならどうしますか？多くの方が驚き困惑すると思います。受け入れることができない方もいるでしょう。

ミューいしがせでは、実際に息子さんが当事者であり、現在では積極的にLGBTの方の支援を行っている松岡成子さんとLGBT当事者の方々をお迎えし講座を行います。

1 クラスに2人の子どもが該当するといわれるLGBT。自分にも身近なこととして、一度ゆっくり考えてみませんか？

## 講演会「長寿社会におけるサクセスフル・エイジング」



伊東まり子さん

(同朋大学・大学院特任教授)

子育てを終えた37歳で専業主婦から大学院へ入学し、様々な経験を積み現在に至る伊東教授は、高齢者福祉政策のエキスパートとして現在は認知症高齢者のケア研究に取り組まれています。加齢は避けられないが、老化に関しては予防・治療が可能であり、暦年齢に捉われず、「精神年齢」「肉体年齢」「見かけの年齢」「社会活動年齢」の総体をもって実年齢と考えるとのこと。

人はいくつになっても成長できる。成長したいと思う気持ちが何より大切であると感じました。実年齢を若くする「簡単まり子体操」を最後に伝授していただき、会場一体となってまり子体操を行い、大盛況の講演会となりました。

ミュージアムでは、6月23日～29日の一週間、男女共同参画週間事業として、講演会やワンディシェフによるランチなど様々な事業を開催しました。オープニングでは、「長寿社会におけるサクセスフル・エイジング～いくつになっても前向きに楽しむ生き方とは～」と題し、同朋大学・大学院特任教授の伊東まり子さんにご講演いただき、たくさんの方が参加しました。

「学会のマドンナ」と呼ばれ、学生からも「まり子先生」と慕われる伊東教授のお話はとても迫力があり、ユーモアを交え、分かりやすく年を重ねても前向きな生き方について学ぶことができました。



## 夏休み企画



### ファミリーカUP講座 パパと一緒にクッキング



7月29日に「元気になる夏の料理教室」というタイトルでパパと子の料理教室を行いました。愛知淑徳大学の学生さん7名が講師として来てくれました。メニューはロールキャベツと春雨サラダ、デザート。各テーブルに先生がつき指示を出してくれたおかげで、作業は順調に進み、とてもおいしいお昼ご飯ができました。

パパと子どもが料理に興味をもつきっかけになるとうれいです。

- 子どもと一緒に料理ができて楽しい時間が過ごせた。
- 明日のおじいちゃんのお誕生日会でまた作ろうと思います。



8月26日に毎年恒例、各講座生合同流しそうめんが行われました。今年はメンズカレッジの皆さんが昔懐かし伝承遊びコーナーを企画。牛乳パックとストローを使った簡単竹とんぼ、トントン相撲などの作り方や遊び方を教えてくれました。また紙飛行機を作って飛ばし、飛距離を競う紙飛行機大会では大人たちも白熱！盛り上がったところで男楽会の皆さんがトイを使って流しそうめん台を組み立て、おいしく流しそうめんをいただきました。いろいろな世代の方たちとよい交流ができました。

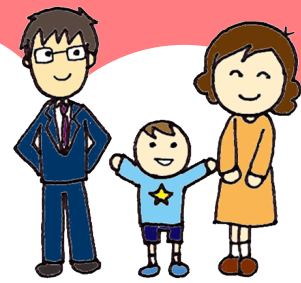
- 日本の伝承遊びを詳しく知ることができ、とても良かったです。



### いしがせファミリーフェスタ 流しそうめんを楽しもう



# パパカUP講座



6月11日から新しくパパのための講座「パパカUP講座」がはじまりました。ムーいしがせでは初めてのパパのための講座です。

初回の講座ではチャイルドマインダー・産後ケアリストの井上枝美先生にお話をいただきました。

女性の産後の急激なホルモンの変化や育児ストレスなどの原因が重なり、多くの女性が心の乱れに苦しみます。何も無いのに夫に無性に腹が立つ、些細なことから心が乱れる、小さなことが気に入らない...。産後2～3年以内に夫婦仲が急激に悪化する現象を産後クライシスといい、多くの夫婦が「産後クライシス」を経験します。産後2年以内に離婚するカップルはなんと離婚件数の30%！

この産後クライシスを知り、妻の心の状態を理解することにより円滑なコミュニケーションが築けるように勉強をしました。妻が夫へ求める行動とはどんなことか、妻へ言うてはいけないいけないNGワードとは何なのか、またその理由は何なのか。参加したパパたちは熱心に話に耳を傾けていました。

乗り越えると逆に家族の絆が深まるという産後クライシス。夫婦で向き合って、乗り越えたい課題ですね。



6月25日、男女共同参画週間事業の一環として、至学館大学准教授の池永真義先生と学生さんにお越しいただき、「親子で楽しむ・紙コップアート」を行いました。



1万個の紙コップを使って親子で遊びます。まずどの家族が一番高く紙コップを積めるか競争！土台をしっかりと作るのか、ひたすら高く積むのか、それぞれで考えて積み上げます。終了10秒前に倒れて声を上げる家族、むきになって高く積み上げようとするパパに「こわいからやめて〜っ」と歓声を上げる子どもたち。とても盛り上がりました。



複数のゲームをしてから最後に各ファミリーに分かれてそれぞれ好きな形を作りました。紙コップで絵柄を作る親子や立体的な建物を作る親子など様々です。たくさんのアートができあがるとホール内は遊園地のようにとても素敵な空間になりました。

(この企画は中日新聞に掲載されました)



7月25日はNPO法人ファザーリングジャパンの飛鷹正範さんにお越しいただき、座談会を行いました。飛鷹さんは次男が生まれたときに育児休暇を取得し、家事全般をされたときの体験談や、ワーク・ライフ・バランスの重要性についてお話を伺いました。



印象的だったのは「子育ては期間限定。必ず終わりが来る。」という言葉。短い短い子育て期間。父親が育児に参加できる時間もわずかです。たくさんのお父さんに育児の楽しさを知ってもらい、子どもと関わってほしいですね。



# 秋からのおススメ講座

## 女性に対する暴力をなくす 暴力のない社会へ

### STOP DV講座 ～パートナーからの暴力～

日程：9/6（水）・9/27（水）・10/11（水）・10/25（水）・11/15（水）・11/18（水）

12/6（水）・12/13（木）10：00～12：00 全8回

ドメスティック・バイオレンスは、身体的暴力だけでなく、さまざまな暴力があり、「これもDV?」ということがあります。DVについて理解をし、家庭では何が起きているのか、子どもたちにどのような影響をもたらすのか、逃れるためにはどうしたらいいのかなど考えながら学習します。

講師：ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA  
フェミニストカウンセラー 他

## DVシンポジウム

暴力のない社会を目指して

### DV・トラウマを理解する ～身近な人たちにできること～



講師 **中島 幸子さん**

NPO法人レジリエンス 代表

■日時 11月18日（土）  
10：00～12：00

■参加費 無料

■託児あり ご希望の方は別途お申し込みが必要ですが、定員になり次第締め切ります。

米国法学博士、大学非常勤講師。DV被害にあった経験がきっかけとなり勉強を始め「こころのcare講座」をスタートさせ、「レジリエンス」を結成。同年米国ソーシャルワーク博士号取得。全国各地で毎年多数の講演を行う。主な著書「性暴力:その後を生きる」(レジリエンス、2011)「マイ・レジリエンス:トラウマとともに生きる」(梨の木舎、2013)など。

申込・問合せはミュージーいしがせ ☎:(0562)48-0588 まで

## ミュージーいしがせ女性の悩みごと相談室 ひとりで悩んでいませんか

女性の悩みごと電話相談

電話番号:0562-44-9117

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が解決のための一歩を踏み出す応援をしています。ひとりで悩まず気軽にお電話下さい。

### ◆相談件数◆

	4月	5月	6月	7月
電話	38	35	37	45
面接	11	17	14	15
その他	0	0	2	1

相談件数 215 件 (内 DV87 件)

### 専門相談員による女性のための面接相談日

※ 9月4日(月)・19日(火)

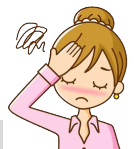
※ 10月2日(月)・16日(月)

※ 11月6日(月)・20日(月)

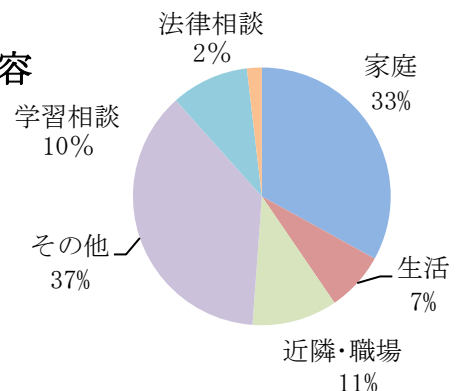
### 弁護士による女性のための法律相談日

※ 9月 13日(水) 11月8日(水)

面接相談・法律相談は予約制です。



### 相談内容



# 子育てサロン③

## ～頑張る私の自分磨き～ (全6回)

託児有り  
詳細はお問合せください

自分を大切にしていますか？ 子育てだけの毎日から一歩踏み出してみませんか？

**1** 10月12日(木)  
人間関係をよりよくするために  
表現上手になる  
アサーショントレーニング  
NPO 法人福祉サポートセンターさわやか愛知  
さわやかタウン施設長 丸山冬芽

**2** 10月26日(木)  
服装は？何が必要？葬儀の違いは？  
今さら聞けない  
葬儀参列のマナー  
株式会社 JAやすらぎセンター

**3** 11月4日(土)  
合同講座  
ファミリー&世代交流企画  
芋掘り&収穫祭を楽しもう！  
協力：男楽会  
浅田吉恵

**4** 11月9日(木)  
大切にしたい、わたしの身体  
乳がんについて  
知っていただきたいこと  
愛知県がんセンター愛知病院  
乳腺科部長 村田透

**5** 11月18日(土)  
DV シンポジウム  
DV・トラウマを理解する  
身近な人たちにできること  
NPO 法人レジリエンス 中島幸子

**6** 11月30日(木)  
光と色彩の癒し効果で、  
心穏やかな毎日を  
紙と光のアート  
「ローズウィンドウ」づくり  
ローズウィンドウ講師・心と体のセラピスト  
岩月秀子

●お申し込み● 9月2日(土)より、ミューいしがせ(石ヶ瀬会館)窓口にて直接、もしくは、TEL・FAXでも受付できます。

# 管理職セミナー

未来のカギを握るのはボスだ！  
～目指せ理想の上司～

参加費無料

対象：一般30名

※企業等で働く職員の方優先となります

単発の参加もOK

現在受付中

第1回 10月18日(水) 13:30～15:30

なぜイクボスが必要とされるのか？  
～社会的背景の理解とイクボスマネジメント～



少子高齢化、長時間労働、共働き世帯の増加など、社会的背景を学びながら、職場のダイバーシティ(多様性)、多彩な人材マネジメントについて学びます。

講師：鈴木昌子氏 (NPO法人ファザーリングジャパン会員)

第2回 11月8日(水) 13:30～15:30

イクボスになるために  
～女性の活躍推進とイクボス行動計画～



女性の活用、ワーク・ライフ・バランスについて学びながら、イクボスになるために必要な「イクボス行動計画」について考えましょう。

講師：柴田俊氏 (NPO法人ファザーリングジャパン会員)

第3回 11月22日(水) 13:30～15:30

企業経営者・活躍したいあなたにおくる  
～実践企業に聞く、皆が働きやすい企業経営とは？  
&交流会～

万協製薬(株)松浦社長をパネリストにお招きし、  
実践方法などのお話を伺います。



パネリスト  
松浦信男氏  
万協製薬株式会社代表取締役社長



コーディネーター  
横井寿史氏  
NPO法人ファザーリングジャパン理事

# ＊ふれあい広場～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

## 活動報告

NPO法人ミューぷらん・おおぶでは「住んでいて良かったと思うまちおおぶ・住んでみたいと思うまちおおぶ」を目指して、色々な活動を展開しております。



今年度も市内公民館で行われる寿大学の講師を行っています。ミューぷらん・おおぶの活動や、男性の家事参加・男女共同参画の必要性などを、笑いを交えながら楽しくお話しています。今年は参加者にアンケートをとり、各家庭での男女共同参画は大府市内ではどのような状況なのかも調べています。男女の家事の分担の様子や地域差が分かり、興味深い結果が出ました。

### 寿大学での講座日程

- 5/24 森岡公民館
- 6/13 大府公民館
- 7/19 吉田公民館
- 9/19 (予定) 横根公民館

### 公民館でのパネル展示予定

- 9/2～3 東山公民館ふれあいまつり
- 9/9～10 北山公民館ふれあいまつり
- 9/30～10/1 神田公民館ふれあいまつり
- 10/7～8 大府公民館ふれあいまつり
- 10/14～15 長草、吉田、森岡、横根公民館ふれあいまつり
- 9/25 大府市福祉・健康フェア

## 石ヶ瀬自治区・石ヶ瀬会館合同防災訓練

9月2日に石ヶ瀬自治区と合同で防災訓練を行いました。ハイゼックス(包装食)を各自で作る炊き出し訓練や防災講座、はしご車体験、消火訓練、煙体験などあり、沢山の方に参加いただきました。石ヶ瀬小学校の金管クラブの演奏を聴いた後、自分たちで作ったハイゼックスを試食しました。いつ起こるか分からない災害。地域で連携し、いざという時に備えたいですね。



ご意見・ご感想を  
ミューぷらん・おおぶ  
までお寄せ下さい。  
問合せ先のTEL・  
FAXまでどうぞ!

NPO法人  
ミューぷらん・おおぶ

問合せ先 〒474-0035  
大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内  
TEL: (0562) 48-0588  
FAX: (0562) 44-9144  
HPアドレス: <http://www.medias.ne.jp/~myuplan/>  
Eメール: [misigase@ma.medias.ne.jp](mailto:misigase@ma.medias.ne.jp)